



御挨拶

宮崎市立小松台小学校 校長 前村 賢一

春陽の候 保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと、この度の定期異動により、都城市教育委員会（南部教育事務所派遣）から参りました校長の前村 賢一（まえむら けんいち）と申します。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本校は、本年度創立35年目を迎え、まさに歴史と伝統を一步一步刻んでいる学校です。また、合唱コンクールでは毎年素晴らしい成績を収め、校区には新興住宅をはじめ道路や街並みが整備され、成長著しい、中規模校でもあります。

こんな素晴らしい本校に着任することができ、心から光栄に思いますとともに、身の引き締まる思いであります。「学校は、タスキをつなぐ教育の駅伝である」と私は思います。歴史と伝統を受け継ぎ、自己ベストを出して区間賞を取る努力をしたいと思います。そして、「伝統に加える新たな創造に尽力することにより、それがいつかは伝統と呼ばれるような区間にしたい」と目標を新たにしたいところです。

さて、着任に当たり、私の本校の学校経営基本方針を述べさせていただきます。

私の学校経営の基本方針は、「個が輝き、学校が伸びている活力ある学校の創造」により「楽しくて楽しくてたまらない学校」を目指すことです。そのためには、学校に関わる全ての人が「楽しくて楽しくてたまらない学校」とならなければならないと私は考えます。

では、具体的にどんな学校にしたいのかを述べます。

(1) 個が輝くために

- 子どもたちは、自分の思いや願いを達成できる。
 - ・ 先生たちがわかるまで、できるまで徹底して教えてくれる。
 - ・ 励まし、認めてくれる先生や友達がいる。
- 職員は、自分のもつ力が十分に発揮できる。
 - ・ 達成すべき目標が具体的であり、組織的な取組をしている。
 - ・ 職務遂行上の様々な問題を語り合う仲間がいる。
- 保護者や地域の人たちは、子どもの様子を見て、うれしくてたまらない。
 - ・ 子どもの変容が確かにわかる。（説明責任の徹底・保護者との密接な連絡体制）
 - ・ 子どもを愛し、学校を愛し、地域を愛する学校の姿が分かる。



(2) 学校が伸びているために

- 職員が学校の課題を十分に把握し、共通実践する組織的な取組を行う。

(3) 活力ある学校であるために

- 全職員のもつ能力や個性が十分に発揮できる職場環境に努める。
- 躍動する学校でありたい。
 - ・ 全職員で組織的な対応と即行動の体質
- 職員の働き方改革を進めたい。
 - ・ 諸会議の精選と時間の短縮化や行事の精選、業務分担の見直しを常に図り、子どもと向き合う時間の確保に努める。

先日の職員会で、私は先生方に小松台小職員の合い言葉をお願いしました。それは、「明るく 楽しく 前向きに そして 誠実に！」です。通称「ATM+ワン」です！全職員いつもこんな気持ちで、子どもたちにはもちろんのこと、保護者や地域の皆様と接していきたいと思っています。

子どもたちの命は一番に守りますが、いつも「あなたが大事」という心に寄り添いながら子どもに指導して参ります。私は、「生」の反対は「死」ではなく、「生まれないこと」だと思っています。この世に命を受けた大事な大事な子どもたち一人一人と、全力で向き合って参りたいと思います。

本年度は、児童数609名（平成31年4月1日現在）、新しく着任いたしました18名の職員を含めて職員数41名でスタートします。このメンバーで小松台小学校の確かな教育の足跡を全力で刻む所存です。

最後になりましたが、学校だけでは子どもたちの教育は限界があります。家庭や地域の皆様と一体となり、学校・家庭・地域の共通意識があってはじめて子どもたちのよりよい教育が実践できると思っております。平成31年度もこれまで以上に学校に対する御理解と御支援を賜りますことを祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。